

- 2面 第2次環境基本計画の素案がまとまりました
- 3面 幼稚園・子ども園 園児募集
- 6面 うつに気づこう
こんなサインはありませんか
- 8面 建物等耐震化支援事業のご利用を
- 8面 シリーズ
首都直下地震に備えて⑤



しんじゅくコール
 ☎(3209)9999 ㊟(3209)9900
 土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
 ホームページ ㊟ http://www.city.shinjuku.lg.jp/
 携帯電話版 ㊟ http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/



携帯電話用二次元コード

困ります 自転車置き去り 知らんぷり 放置自転車をなくし 暮らしやすいまちへ



手軽で便利、環境にも優しい自転車は、最も身近な交通手段です。しかし、路上に放置すれば、歩行者や車の通行に迷惑だけでなく、事故や火災の際には救助活動を妨げます。

区では、放置自転車を随時撤去していますが、撤去だけでは問題は解決しません。

自転車を使うときは駐輪場の利用を徹底するなどルールとマナーを守り、放置自転車のない安全で住みよいまちにしましょう。

【問合せ】交通対策課自転車対策係(本庁舎7階)☎(5273)3896・㊟(3209)5595へ。

迷惑です 放置自転車



歩行者に迷惑です

歩道が狭くなります。特に、高齢者・障害者の方には危険です。

車に迷惑です

渋滞の原因になります。バスやタクシーの乗り降りにも影響します。

災害時に危険です

避難や救助活動を妨げます。時として人命にかかわる悪質な行為にもなります。

美観を損ねます

駅前などを雑然とさせるだけでなく、まち全体の美観が失われます。

10月22日～31日 駅前放置自転車 クリーンキャンペーン

地域の皆さんや警察署等と協力し、高田馬場・大久保・新大久保・四谷三丁目・飯田橋の駅前等で放置自転車の撤去活動・PR活動を実施します。ご理解・ご協力をお願いします。



▲昨年のキャンペーンでは400台以上の放置自転車を撤去しました

一時的に止めるときも駐輪場へ

駐輪場は1日利用・時間利用もできます



▲機械式の駐輪場を整備しています

一部の自転車等駐輪場・路上自転車等駐輪場は、1日利用・時間利用ができます。事前の申し込みは必要ありません。

- 1日利用(自転車等駐輪場)
 【料金】▶自転車…100円、▶原動機付自転車(50cc以下)…200円
- 時間利用(自転車等駐輪場・路上自転車等駐輪場)
 【料金】▶自転車…2時間以内無料、その後の24時間100円、▶原動機付自転車・自動二輪車…2時間以内無料、その後の1時間に付き100円

駐輪施設の定期利用

空きがある場合は、申請を随時受け付けています。翌年度の定期利用申請は、毎年1月に一斉に受け付けます。詳しくは、「広報しんじゅく」等でご案内します。

一人一人の行動が 放置自転車の解決につながります

今年度の残暑は本当に厳しかったですね。気象庁によれば、東日本の暑さは8月下旬から9月上旬は観測史上第2位、9月中旬は第1位とのことですので、ようやく季節も移り、この区報がお手元に届くころには、区民の皆さまも爽やかな文化・スポーツの秋本番を迎えていることと思います。▼でもまだ、台風や豪雨も油断できません。私は区長就任以来、防災・減災対策に最大限の力を注いできましたが、今回の区役所本庁舎の耐震問題については、**「何故か」という思いもありませんが、差し迫った最優先の課題として耐震、制震、免震の3案の補強案を早急に検討した結果、地震の力を免震ゴムで逃がし、揺れを上層階に伝えない免震構造による補強に取り組みいたしました。**この補強については、準備も含め3年程度かかることとですが、できる限り工夫して期間を短縮したいと考えています。また、その間の応急の補強対策を検討するとともに、暫定的な事業継続計画の策定にも取り組んでいます。▼区民の皆さまにはご心配をおかけしますが、一日も早く本庁舎の耐震性能強化を進めて、震災時の被災者支援、区民サービス及び復旧・復興の拠点としての役割を發揮できるようにしていきます。皆さまのご理解をお願い申し上げます。

区長 **中山 弘子**
 なかやま ひろこ

新宿 まち・人・しごと

今年の残暑は本当に厳しかったですね。気象庁によれば、東日本の暑さは8月下旬から9月上旬は観測史上第2位、9月中旬は第1位とのことですので、ようやく季節も移り、この区報がお手元に届くころには、区民の皆さまも爽やかな文化・スポーツの秋本番を迎えていることと思います。▼でもまだ、台風や豪雨も油断できません。私は区長就任以来、防災・減災対策に最大限の力を注いできましたが、今回の区役所本庁舎の耐震問題については、**「何故か」という思いもありませんが、差し迫った最優先の課題として耐震、制震、免震の3案の補強案を早急に検討した結果、地震の力を免震ゴムで逃がし、揺れを上層階に伝えない免震構造による補強に取り組みいたしました。**この補強については、準備も含め3年程度かかることとですが、できる限り工夫して期間を短縮したいと考えています。また、その間の応急の補強対策を検討するとともに、暫定的な事業継続計画の策定にも取り組んでいます。皆さまにはご心配をおかけしますが、一日も早く本庁舎の耐震性能強化を進めて、震災時の被災者支援、区民サービス及び復旧・復興の拠点としての役割を發揮できるようにしていきます。皆さまのご理解をお願い申し上げます。